

パイナップル草って 知っていますか



歴史のドアを開けよう

Natural History
第35回

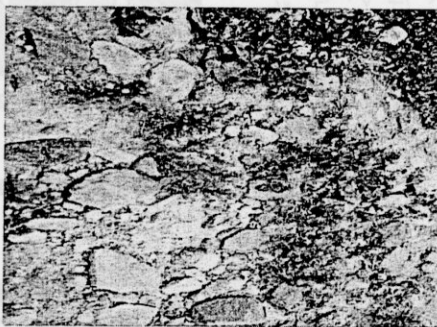
いしかり博物館

■文化財・博物館開設準備室 ☎0133-72-6123

E-mail:bunkazaih@city.ishikari.hokkaido.jp

今年、紅葉山49号遺跡の発掘は、発寒川に近い防風林のそばで行われています。防風林の緑と林床の美しい野草、小鳥のさえずりなどが発掘作業の疲れを癒やしてくれます。今回は発掘現場で教えてもらった野草の話をしてみましょう。

先日、発掘調査で写真を担当しているMさんからパイ



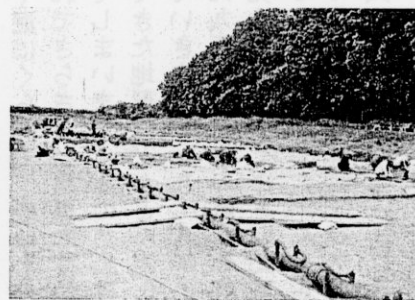
●事務所裏のパイナップル草



●パイナップル草（長田武正1997 原色日本帰化植物図鑑より）

ナップルの香りがする野草があるという話を聞きました。そんなおいしそうな草があるとは半信半疑でしたが、探すと確かにその野草はありました。しかも発掘事務所のすぐ裏にあったのです。草丈は四五センチで、花は茎の先にある半球形の帽子のような部分で色は黄緑色をしていました。花の部分に鼻を近づけてみると、彼女のいうとおりフルーツ系のいい香りがしました。

野草の本を見てゆくと、この草はキク科の一年草で和名は「コシガキク（子鹿菊）」という帰化植物らしいことがわかりました。さらに、帰化植物図鑑をひいてみると、「パイナップルに似た香気がある」と記載されていました。



●発掘風景（右の林が防風林）



Mさん

ろということ。小さいですが注意深く探すと割に良くある植物ですので、皆さんも一度探してみたいかがでしようか。すてきな香りとともに石狩の歴史もイメージできるかもしれません。

ちなみに英語でも、この草を Pineapple-Weed（パイナップル草）というそうです。

（石橋孝夫）